

2015 年度 大学 COC 事業 中間報告書

「共愛の教育 第 15 号」(2015 年度 秋季)に掲載した原稿を改訂。

2016 年 3 月 29 日

共愛学園前橋国際大学 COC 推進本部事務局

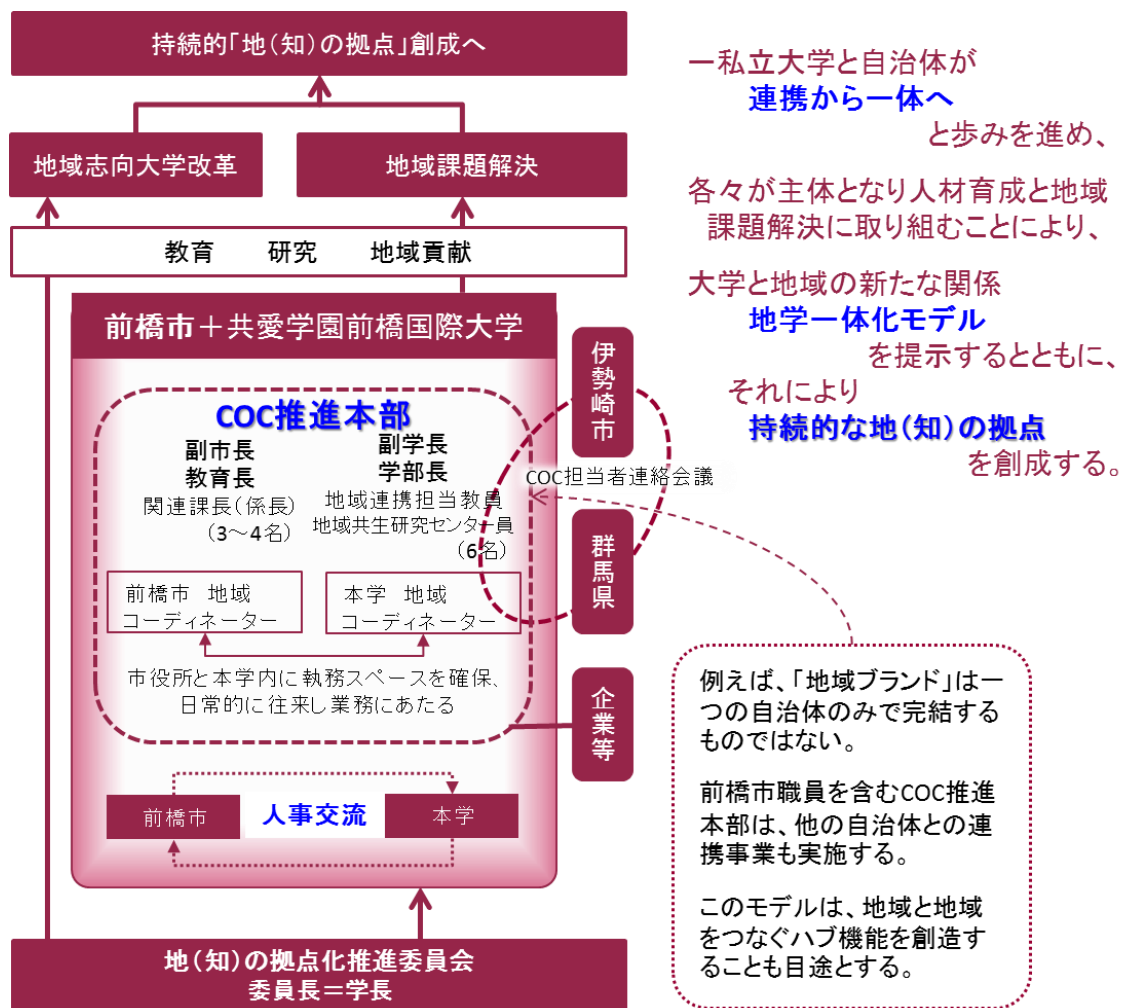
大学 COC 事業による地域志向教育について

共愛学園前橋国際大学 奥山 龍一

1. 大学 COC 事業について

2014 年度に本学は、文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に採択されました。COC は Center Of Community の略称ですが、大学が自治体を中心とした地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を推進することにより、地域の課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在として、大学が機能強化を図ることを目的としています。2014 年度には申請 237 件から 25 件が採択され、2013 年度の採択 52 件とあわせて、現在全国各地域で 77 件（82 校参加）の COC 事業が展開しています。

群馬県では高崎商科大学（2013 年度）と本学の 2 校のみが COC 大学に採択されています。高崎商科大学は高崎市、富岡市と連携していますが、本学は『地学一体化加速プロジェクト：持続的「地（知）の拠点」創成へ』という事業名を冠して前橋市、伊勢崎市、群馬県と連携し、特に前橋市とは一体的に「COC 推進本部」を設置しています。



本学の COC 事業は、地（知）の拠点として「地域（産業）人材育成」と「地域ブランド向上」という地域課題に取り組むことを目的にしています。

特徴的な取組として、

- これまで地域の中で展開されてきた様々なプロジェクトを授業に位置づける、
 - 半年間大学の授業に出席するのではなく、長期インターンシップや地域課題解決プロジェクトに参加することができるサービスラーニングチーム（地域留学）を設置する、
 - 地域産業界と共に地域（産業）人材にとって必要な能力について研究し、その育成のためのカリキュラムを開発する、
- などを挙げるすることができます。



第一回 COC 推進本部会議（2015年2月2日開催）

2. 地域との共生による生涯学習社会の形成と学生の育成

本学は、地域と共に生きる大学として、様々な地域共生・連携の取り組みを展開し、地域社会との交流を深めています。そして地域連携の取り組みに学生が参画することにより、教室だけでは得られない大変貴重な「学び」を得る機会となっています。

その原動力となっている「地域共生研究センター」では2004年から、

- 子育て支援事業である「きょうあい子育てひろば」の企画・実施、
- 前橋市の特色や課題について多方面から考察する『前橋学』講座の企画・実施、
- 学生が講師を務め地域の人々が受講する「パソコンはじめて講座」等の企画・実施、
- 地域の人々の経験や知識・知恵と大学の研究蓄積との相互交流の促進とネットワークづくり、
- 男女共同参画社会づくり事業として、男女共同参画に関する学習機会（講演会・講座・研修等）の提供等々、

教育委員会や地域の公民館、NPO 等との連携をとおして、群馬県内における生涯学習社会の形成の一翼を担っています。



「えいめい・きょうあい子育てひろば」



「お父さんの子育てひろば」

さらに地域共生のポリシーは、学生の育成にも活かされています。

本学の学生たちは、授業科目、ボランティア実習、学生プロジェクト活動、サークル活動など、様々な場面で地域連携の取り組みを行い、また地域の人々との学びを大切にしています。

- 電子商取引演習（授業）：2004年度から地元企業と連携した商品開発をテーマに開講（文部科

学省主催インターネット活用教育実践コンクール入賞、『トレードフェア』4年連続（大学生部門があった時代から数えると10年連続）最高賞受賞）

- ▶ 繭美蚕（まゆみさん）：課題演習の兼本ゼミナールの学生が2005年6月に設立した仮想企業。群馬の地域活性化を目的として、地元企業と連携した商品開発と販売を行う。（「大学は美味しい!!」フェアには本学を代表し、2年連続出展）



第7回「大学は美味しい!!」フェア

- ▶ 学校フィールド学習（授業）：前橋市立筑井小学校との地域連携事業
- ▶ 学校放課後英語活動サポート：前橋市立筑井小学校との地域連携事業
- ▶ 伊勢崎市小学校日本語教室サポーター派遣事業：日本語教師教育実習（授業）として伊勢崎市教育委員会との地域連携事業
- ▶ 幼稚園や小学校における児童英語教室開設：児童英語教育実習（授業）の一環
- ▶ 各種ボランティア活動・ボランティア実習（授業）
- ▶ アンサークラブ・聖歌隊などによる地域貢献の取り組み
- ▶ 前橋市地域づくり推進事業におけるワークショップ・サポーター
- ▶ インターンシップ、総合科目「人間を考える」、介護等体験、教育実習、国内フィールドワーク、まちなかキャンパスなどの企業・地域・学校等における体験型の授業
- ▶ その他県内の各種イベント・行事への参加

大学と地域の交流から生まれたこうした地域連携は、PBL（Project Based learning）あるいはサービスマーケティングのスタイルをとって、現在のアクティブ・ラーニングを先駆的に実践した「学び」（社会連携教育）ということができます。

地域の中にある共愛学園前橋国際大学

COCは**大学生**が主役！



3. 地域志向科目のカリキュラム改革

地域共生研究センターの地域連携事業や学生の社会連携教育の成果は、「地域に愛される大学のすすめ」（三省堂 2011 年 8 月 5 日発行）に記載されていますが、そうした取り組み実績が評価されて、文部科学省の大学 COC 事業に採択されたともいえます。

大学 COC 事業では、全学生が在学中に一科目は地域志向科目を履修する教育カリキュラム・教育組織の改革を行うことが求められます。本学ではこれまでの実績をベースにして、群馬県・前橋市・伊勢崎市等の行政機関および教育委員会、サンデン株式会社や地元産業界の企業、NPO 教育支援協会北関東等の NPO 法人と協働連携をして、次のようなカリキュラムを実施しています。

2015 年度から、共愛学園前橋国際大学の「目的」を理解する重要な科目群である、共愛コア科目の C 群「地域理解」に地域志向科目を設置して、新入生から選択必修（2 単位以上）としました。

- ① 群馬を知るための講義科目（2 単位、前期または後期）：「群馬の人と思想」、「群馬の産業と社会 I・II」、「地域福祉論」、「地域史研究」、「地域社会学」、「群馬の言葉とこども」、「地域とこども」、「群馬を知る」（群馬県企画部の寄付講座）
- ② 行政や企業と連携したボランティア実習（2 単位認定、通年）：卒業までに 30 日以上、学外でのボランティア活動に参加して、毎回レポートを提出する。
- ③ PBL を中心にした社会連携教育（2 単位認定、集中）：地域実践演習 I～V

科目名	プロジェクト名	概要
地域実践演習 I	環境ネットワークキャンパス	サンデン環境みらい財団が支援する、大学生（共愛学園前橋国際大学・群馬大学・高崎経済大学・早稲田大学）とサンデン若手社員の協働プロジェクトに参加して、社会人や他大生と共に「環境」をテーマとしたプロジェクト活動を行う。
地域実践演習 II	Mキッズサミット	前橋市教育委員会生涯学習課、NPO 教育支援協会北関東と本学が協働する「Mキッズサミット」に企画・運営スタッフとして参加して、小学生の成長をサポートするプログラムをゼロから立ち上げるプロジェクト活動。
地域実践演習 III	やる気の木プロジェクト	前橋市（産業経済部にぎわい商業課まちなか再生室）が主催する「やる気の木プロジェクト」（前橋市内の大学・専門学校の学生が中心市街地を舞台として、学生たちのやりたい事「やる気」を育み、そのやる気を形にしていく活動）に参加して、前橋市役所の職員と共に、まちなか再生にチャレンジする。
地域実践演習 IV	前橋学	前橋市内の公民館と共催する「前橋学」講座に参加して、地域の人々と共に地域の成り立ちや歴史（郷土史）を学ぶ。また前橋市内で行われる、地域の伝統行事を調査して参加する。 今年度は「地域連携講座前橋学—歴史から学ぶ前橋—」として、前橋市東公民館と連携して、全 4 回の連続講座「東周辺の歴史」を開催した。学生はこの講座に出席するとともに、前橋文学館主催の「第 4 3 回朔太郎忌いまこそ、朔太郎」に運営スタッフとして参加。また「前橋まつり」「初市」等の伝統行事を調査して参加した。
地域実践演習 V	困難を抱える生徒の学習機会創生プロジェクト	前橋市内の公民館 6 拠点で前橋市社会福祉課と NPO 教育支援協会北関東が開催する学習教室「M-Change」に運営スタッフ（講師）として参加して、学習の機会に恵まれない中学生に英語・数学を中心に「寄り添いながら」学習の支援を行う。今年度は学生 30 名（ボランティア参加を含む）が参加した。



やる気の木プロジェクト（前橋中央通り商店街でのイベント）

④ サービスラーニングチーム（半期）を利用した地域留学（12単位認定、集中）：長期インターンシップ、Regional Project Work I

科目名	連携先等	概要
長期インターンシップ	①前橋市役所（政策推進課） ②前橋市教育委員会（児童文化センター） ③サンデン環境みらい財団 ④相模屋食料株式会社 ⑤エアムーブ住宅（司建設株式会社） ⑥NPO 教育支援協会北関東	<p>将来の就職活動にそなえて、企業、市役所、教育委員会などで実際に仕事をしながら、社会に出るためのビジネスマナー（職場での行動のしかた）、ビジネススキル（仕事に役立つ能力）、ビジネスマインド（仕事をする心構え）を学ぶ。さらに研修先から提示されるテーマに取り組むことにより、単なる就業体験を超えた地域志向のマインドを身につける。</p> <p>①前橋市役所：地域づくりと自治体行政を学ぶプロジェクト 主に前橋市政策部政策推進課のメンターのもとで行政職員の実務経験をしながら、地域ブランドの向上、地域の元気創造について学びます。</p> <p>②前橋市教育委員会：地域の教育行政を学ぶプロジェクト 主に前橋市教育委員会事務局のメンターのもとで行政職員の実務経験をしながら、学校や地域の特徴を生かした教育活動、地域の生涯学習について学びます。</p> <p>③サンデン環境みらい財団：E-キャン・プロジェクト 伊勢崎市にあるサンデン環境みらい財団（伊勢崎市寿町 20 サンデン本社内）でサンデン社員と共に企業の CSR 活動（社会貢献）を学びます。また環境ネットワークキャンパスのプロジェクト運営をサポートして、エコプロダクツに出展します。</p> <p>④相模屋食料株式会社：トップ企業の経営を学ぶプロジェクト 相模屋食料本社（前橋市鳥取町 123）または「豆腐工房おかべの郷」（前橋市西片貝町 5-21-15）で、業界をリードするトップ企業の社員から新商品を生み出すビジネスマインドを学びます。</p> <p>⑤エアムーブ住宅（司建設株式会社）：家創り企業の経営を学ぶプロジェクト エアムーブ住宅前橋営業所（前橋市大渡町 1-12-6）で、住まい創りの喜び、家造りの面白さ、地域への貢献を学びます。</p> <p>⑥NPO 教育支援協会北関東：地域密着型の子供育成支援プロジェクト 前橋市下大島町 746-1（大学から車で 10 分）に位置する NPO 教育支援協会北関東（井熊ひとみ代表理事）で、地域子ども教室、自然体験キャンプなどの活動にプロジェクトメンバーとして参加して、子供の育成支援を体験し学びます。</p>
Regional Project Work I	① NPO 法人いせさき NPO 協議会 社会貢献ネット（人をつなげる NPO づくりプロジェクト）	<p>地域の課題解決や地域企業等のミッションをテーマとして活動する取り組み（プロジェクト活動）。県内の地域の人々や自治体、企業、NPO 法人等の人々と共に、地域が抱える課題を</p>

	② 共愛COCO（COC学生プロジェクト） ③ 学童プロジェクト（COC学生プロジェクト）	掘り起こし、解決策を考えて行動する。現実の課題をテーマとして活動することで、実際の社会の仕組みや問題点を知り、それに取り組む人々との協働・交流をとおして、地域人材の自覚や行動力を身につける。
--	--	---



共愛COCOのメンバーによる「やまさと応縁隊活動」

（群馬県農政部農村整備課委託事業）

こうした地域志向科目群を全学生が履修することにより、群馬を知り、群馬に生きる人材としての能力と誇りを持った「地域（産業）人材」を育成し、「地域ブランド向上」に寄与することを目的として、COC 推進本部は社会連携教育を推進します。

2018年度に文部科学省のCOC 補助事業は終了しますが、その後も地域志向の大学改革・運営を行うことを中期経営計画に組み込み、地（知）の拠点として教育活動・研究活動・社会貢献活動を展開し、さらに地方創生に資する人材の養成を目指します。

(参考)2015年度のCOC 地域志向教育研究事業の実施状況

地域志向科目の開講状況

配当	単位	学期	科目名	履修者 数合計	内訳			
					1年	2年	3年	4年
1年	2	後期	地域社会学	137	93	27	4	1
		通年	ボランティア実習	185	19	68	47	51
		後期	群馬を知る(群馬県提供)	99		23	61	15
		通年	地域実践演習Ⅰ(環境ネット)	5		2	2	1
		通年	地域実践演習Ⅱ(Mキッズ)	15	5	1	1	8
		通年	地域実践演習Ⅲ(やる気)	10	6	2	2	
		通年	地域実践演習Ⅳ(前橋学)	1			1	
		通年	地域実践演習Ⅴ(M-Change)	13	8	2	2	1
2年	2	前期	群馬の人と思想	139		54	60	21
		前期	群馬の産業と社会Ⅰ	78		42	20	16
		後期	群馬の産業と社会Ⅱ	48		19	18	11
		後期	群馬の言葉とこども	23		9	10	4
2年	12	後期	長期インターンシップ	5		4	1	
		後期	Regional Project WorkⅠ	17		11	4	2
3年	2	後期	地域史研究	21			14	7
		前期	地域とこども	24			19	5
合 計				820	131	264	266	154

2015年度の地域実践演習の実施概要

科目名	プロジェクト名	概要
地域実践演習Ⅰ	環境ネットワークキャンパス	共愛学園前橋国際大学・群馬大学・高崎経済大学・早稲田大学の学生13名とサンデン若手社員8名がプロジェクトチームを編成して、①CO2 排出量削減プロジェクト、②森の学校E3プロジェクト、③地域活性プロジェクトに取り組む。エコプロダクツ 2015 に出展した。
地域実践演習Ⅱ	Mキッズサミット	学生18名(ボランティア参加を含む)と前橋市生涯学習課、中央公民館がプロジェクトチームを編成して、前橋市内の小学生44名を対象に『Mキッズサミット～自分たちのお店をつくろう～』を実施した。前期中は学生スタッフの企画立案会議を毎週行い、後期に小学生とのワークショップを5回実施した。最終日は前橋市長、教育長の前で小学生が活動発表を行った。
地域実践演習Ⅲ	やる気の木プロジェクト	前橋市内の大学や専門学校14校の学生約40名と前橋市役所の若手職員が、前橋の中心市街地活性化を目的として、主に中心商店街をフィールドに学生による具体的な取り組み(施策、イベン

		ト、仕組みづくり等)を行った。 今年度は、月2回の運営委員会を開催し、第4回前橋合同学園祭、けやき並木フェスタ、前橋ハロウィン2015の企画と運営を実施した。
地域実践演習Ⅳ	前橋学	今年度は前橋市東公民館と連携して、「地域連携講座前橋学—歴史から学ぶ前橋—」として全4回の連続講座「東周辺の歴史」を開催した。この講座に出席するとともに、前橋文学館主催の「第43回朔太郎忌 いまこそ、朔太郎」に運営スタッフとして参加した。また地域の伝統行事を調査して参加している。
地域実践演習Ⅴ	困難を抱える生徒の学習機会創生プロジェクト(M-Change)	前橋市内の公民館6拠点で NPO 教育支援協会北関東が実施する、まえばし学習支援事業 M-Change 教室(前橋市社会福祉課委託事業)に講師として参加した。今年度は学生30名(ボランティア参加を含む)が参加している。

サービス・ラーニングターム(地域留学)の実施概要

科目名	連携先等と参加者数	概要
長期インターンシップ	① 前橋市役所(政策推進課): 1名 ② 前橋市教育委員会(児童文化センター): 1名 ③ サンデン環境みらい財団: 1名 ④ エアムーブ住宅(司建設株式会社): 2名	研修先から提示されるテーマに取り組むことにより、単なる就業体験を超えた地域志向のマインドを身につけることを目標にした。 2015年度のスケジュールは次のとおり。 1.事前学習:9月24日～10月1日の期間中に、学内で事前セミナーと研修先についての調査を行う。 2.実務研修:10月5日～1月26日の期間中に、研修先に通い職場のメンター(指導・相談役)に付いて仕事のやり方を学ぶ。また研修先でのテーマに取り組む。 3.事後学習:1月27日～2月2日の期間中に、学内で事後セミナーと発表資料作成を行う。 4.成果報告会:2月18日に関係者へ成果報告の発表を行う。
Regional Project Work I	① 人をつなげるNPOづくりプロジェクト: 6名 ② 共愛COCO: 9名	① 「NPOいせさきNPO協議会 社会貢献ネット」のメンバーとして、NPO 法人の設立から経営までを学び、実際に地域企業と連携した社会活動を行った。企業と連携した小学生ワークショップの開催、クラウドファンディングおよびボランティアポイント制の調査を行った。 ② 学生がプロジェクトを立ち上げ、群馬の地域課題(農業等)をテーマに活動した。群馬県農

	③ 学童プロジェクト: 2名	政部委託事業「やま・さと応縁隊活動」に参加し、みなかみ町藤原地区平出集落でフィールドワークを実施した。 ③ 学生がプロジェクトを立ち上げ、学童保育の事業内容、社会的ニーズを調査して、学童クラブの設立を志向して活動した。
--	----------------	--

地域志向教育研究支援制度申請の状況

プロジェクト名	連携先	概要
伊勢崎市小・中一貫英語力向上カリキュラムの作成を目指した英語指導の充実	伊勢崎市教育研究所	伊勢崎市が重点としている「英語教育」に絞って実践研究を進める。具体的な内容については、これまで先進的に取り組んできた小学校英語教育と中等教育(中学)での英語教育のなめらかな接続を重視した、より効果的な9年間一貫カリキュラムの作成及びその指導法を研究する。
オープンデータの活用による前橋市の活性化に関する研究	前橋市政策部情報政策課	前橋市のオープンデータの2D、3D画像化による可視化、ウェブアプリケーション化を進め、前橋市のさらなる活性化に貢献する。
ぐんま方言フェスティバルプロジェクト	前橋市児童文化センター	群馬方言の保存・継承を目的に、「子どもぐんま方言フェスティバル」を中心とした方言教育活動を展開する。活動の中心である方言フェスティバルは前橋市児童文化センターで行い、「ぐんま方言かるた大会」、「方言パペット劇の上演」「方言かるたすごろく遊びコーナー」、「みんなで方言トランプ」、「方言ぬりえコーナー」「方言童話読み聞かせ」などを前橋市児童文化センターの職員とともに学生が企画運営し、子どもたちをサポートする。
オール前橋魅力発見プロジェクト	ルパティスリーヒデ、町田酒造店	前橋市に古くからある造り酒屋に着目し、日本酒製造の副産物である酒粕を焼き菓子に使うことで、新商品を企画開発して、販売まで行う。
学生による地域(商店街)再生の実現可能性調査研究プロジェクト	上毛新聞社	前橋市の中心商店街に位置する「オリオン通り商店街」を対象に、複数の空き店舗を組み合わせた映画街(商店街全体のシネマ・コンプレックス化)というビジネスプランの実現可能性を検討していく。
“地域づくり辞典”つくり—地域住民の活動事例と大学生の地域フィールドワークを中心に—	前橋市地域づくり連絡会	前橋の地域づくり協議会、地域づくり連絡会との交流による(1)“住民による地域づくり辞典”つくり、(2)住民・市民へのアンケート調査の環境行動学的分析、(3)環境心理学授業で大学生が地域について学ぶ機会を与える、これら(1)(2)(3)の内容・結果を資料集(冊子)としてまとめる。

地域産業界との連携協定

協定名称	概要
前橋商工会議所「地域人材育成及び地域文化発展のための連携に関する協定」 2015年7月27日	「地域で活躍し地域振興を先導する人材」の育成に共同で取り組む。 ① 地域産業が求める人材像を定義する ② 地域産業が求める人材を育成するカリキュラムを検討する ③ 地域産業が求める人材を育成するための新設学科の可能性を検討 ④ 若者が地域に定着する仕組みを検討する ⑤ 地域文化発展のための相互協力、交流を検討すること
「富士見商工会と共愛学園前橋国際大学との連携協力に関する協定」 2015年8月27日	地域の発展や人材の育成に共同で取り組む。 ① 国際交流促進による地域活性化に関する事項 ② 文化・特産品等の発信による地域活性化に関する事項 ③ 次世代地域人材育成に関する事項

以上